

やまのうち通信



第 191 号

令和 5 年 3 月 20 日

山内自治振興センター

庄原市山内町 813-4

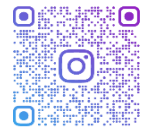
TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



↑ フェイスブック

QR コード



YAMANOUCHIJICHISHINKOUKU

↑ インスタグラム

QR コード

令和 4 年度活動促進補助金事業

「写真でみる やまのうち」ブルーレイ版が完成しました！



令和 4 年度の活動促進補助金で「写真で見るやまのうち」の冊子 1000 冊とブルーレイ版 4 枚を作成しました。ブルーレイ版ではナレーションを入れ、昔の人の思い出話なども紹介しながら、山内の学校、交通、農業、農協、祭り、温泉、行事や里山の夢、金藤理絵さんなどの写真を紹介しています。

視聴をご希望の方へブルーレイディスクの貸し出しを行います。

山内自治振興センター（電話：0824-74-0451）までお申し込みください。

山内小学校と山内自治振興区の共同花壇が庄原市ジュニアガーデンコンクールで金賞受賞しました！

金賞



山内小学校の校門を入ったところに山内小学校と自治振興区の共同花壇があり、苗を共同で購入し、小学生たちと老人会メンバーと一緒に植え、管理しています。

その花壇で咲いた花が、令和 4 年庄原市ジュニアガーデンコンクールで金賞を受賞しました。この花壇は小学校、老人会、自治振興区が共同で管理し、10 年以上続けているものです。

当初は石ころだらけだった花壇が、竹パウダー堆肥のおかげもあり、立派な花壇になり美しい花が咲くようになったことを小学校および区民全員で喜びたいと思います。



山内小 2 年生が作成した自治振興センターのイメージマップを展示しました！



2 月に山内小学校 2 年生が生活科の授業で山内自治振興センターへ見学に来てくれました。

見学時に区長と事務局長が説明したことや感じたことなどを、自治振興センターのイメージのキーワードにして、子どもたちがマップにしてくれました。キーワードとして「平和」、「安全」、「安心」、「元気」、「笑顔」、「ボランティア」、「竹パウダー」などをあげてくれていました。

良いイメージの言葉がたくさん並んでおり、自治振興センターを評価してくれていることをうれしく感じました。

この春から、新しい感染対策での暮らしが始まります。当園でも面会制限が一部緩和され、ご家族などが毎日、お越しになります。久しぶりの再会を喜ぶ声や笑顔のおかげで施設の中が明るくなったようです。

国レベルでのイベント、活動制限も緩和され、感染予防のため、制限や中止されていた活動が、いよいよ本格的に動きはじめる新年度になりそうです。

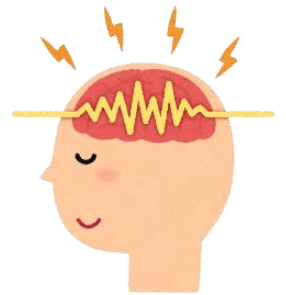
とはいえ、数年間中止となっていた、地域の行事やイベントを再開することは、おおきな力を必要とする取り組みになりそうです。これからの地域での取組みを考える上で、興味深い認知脳科学の研究がありました。

人間の脳（脳波）は「同期」する というのです。

※脳の同期と言うのは、違う人同士の脳波が同じ波形になると状態

○同期がすすむことにより、人間関係が良好になり、コミュニケーションの円滑化し、チームとして大きな力を発揮する。

○芸術的なオーケストラによる演奏や、神業のように見えるスポーツの連携プレーは、脳波が同期された状態により引き起こされると解説されています。



それでは、どうすれば脳の同期が起こるか？3つのポイント

メンバーが、①同じ時間 ②同じ空間 ③同じ目的 を持つこと
(会話の中でうなずいたり、会話のペースを合わせるというのも効果的)

新型コロナの影響を受けた地域の力を再構築するのは大変なことですが、まず、みんなで、同じ場所（空間）に集まり、同じ時間を過ごしなが、目的を共有することがとても大切なことだと感じました。

よく考えれば・・・

最新の認知脳科学が言っていることは、これまでも、地域で繰り返し行われてきことでもありました。きっと大丈夫ですね。いろいろな意味で新しい春に期待が膨らみます。

科学で“心”は捉えられる？—筑波大学 システム情報系知能機能工学域 川崎真弘准教授
CYCLE JKA SOCIAL ACTION (<https://www.jka-cycle.jp/ct/17484477>) を参考

庄原市老人介護支援センター相扶園 荒木和美

山内自治振興センター貸室をご利用の方へ



令和5年3月13日から、マスク着用は個人の判断が基本となりました。自治振興センターをご利用時のマスクの着用は個人の意思でお願いします。各部屋を利用する際は三密を避け、肩と肩が触れ合わない距離をおとりください。また、発熱（平熱+1度以上）、息苦しさ、強いだるさ、咳、咽頭痛、味覚および臭覚障害などの症状がある方は、ご利用をご遠慮ください。

引き続き、手指のアルコール消毒等の感染症対策にご協力をお願いいたします。



山内自治振興センターご利用時のお願いについて

令和5年3月12日まで	変更点は赤色です	令和5年3月13日～
・マスクの着用	→	・ マスク着用は個人の意思でお願いします
・貸室利用時の人数制限		・ 各部屋の人数制限はなくなりました
・部屋の換気		・部屋の換気
・手指のアルコール消毒		・手指のアルコール消毒
・検温		・検温
・貸室利用者名簿の記入		・ 貸室利用者名簿の記入はなくなりました
・貸室利用後のテーブルのアルコール消毒		・貸室利用後のテーブルのアルコール消毒
・使用簿の記入		・使用簿の記入

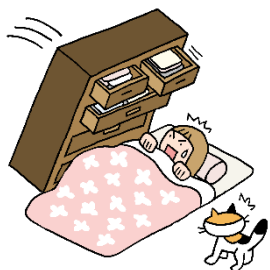
おたがいさまネット

「もしもの大地震に備えよう」

先日 NHK で放送されたドラマ「南海トラフ巨大地震」という番組を観ました。何気ない日常を突然襲う地震の怖さが現実味を帯びて伝わってくる内容でした。近い将来起こると予測されているこの地震で、震源域に近い四国、近畿、東海地方では震度7の揺れに加えて、沿岸部では津波に襲われて、甚大な被害が想定されています。被害想定が切実なこれらの地域では被害を最小限に留める対策がとられる一方、住民の避難訓練が切迫感を持って行われていると聞きました。

中国地方の真ん中に位置する私たちの地域は、この地震による津波の心配こそありませんが、震度は「5強」が想定されています。建物の部分倒壊や家具の転倒など十分考えられます。また大きな揺れは誰でも不安になります。この様なときこそ住民通しの声の掛け合い、お互いの安否確認が必要です。この間「おたがいさまネット」の取り組みで想定した災害は大雨によるものが主でしたが、地震を想定した避難支援や安否確認の訓練も必要だと改めて感じました。

災害には日頃からの備えが大切だといわれていますが、各地域で実施する訓練の具体例としては下記のことあげられますので、各自治会の「おたがいさまネット」において検討してください。



- 避難支援協力者による一人暮らし高齢者等の安否確認行動（訪問・電話）
- 災害時の連絡網の確認と取りまとめ
- 地震のときの災害時一時避難所及び避難経路の確認
- 災害対策用品及び保管場所の確認

なお、自治振興センターでは下記の災害対策用品を保管しています。

- 担架 2台 ●簡易トイレ 2台 ●毛布 5枚 ●救急セット 2組
- ダンボールベット 1台 ●間仕切り 2枚 ●非常食
- 発電機 2台（発電機は本郷、行里、表水越、高茂自治会に各一台保管）



地域マネージャー 三上智道

令和5年度戦没者慰霊祭開催について

日吉神社の境内にある「護国神社」には、山内地区から出征し、戦場で命を落とされた方々194名が祀られています。山内自治振興区では、その方々のご冥福をお祈りする慰霊祭を毎年4月5日に行っています。

日時：令和5年4月5日(水)10時開場
場所：山内護国神社（日吉神社境内）

ご参加は平服でお願いします

おくりもの

2/16~3/15

◆香典返し

水越町 森永圭昭様（故 和昭様）



ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会

4月予定

- 5日 戦没者慰霊祭
- 11日 ふれあい給食
- 6・7日 会計監査
- 20日 自治会長会
- 25日 ふれあい給食
- 28日 自治振興区総会



3月環境パトロール隊



右から、金子久則さん、三橋豊さん、塚本邦彦さんです。

定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

空き家・移住情報提供、移住された皆様へのご支援ありがとうございます。

2019年5月(令和元年)山内の定住プロジェクトは始まりました。12月から山内でおし隊発足多くの住民・学生の皆様にご参加頂いています。ところが皮肉にも同年12月初旬に、中国の武漢市で第1例目のコロナ感染者が報告されパンデミックと言われる世界的な流行となりました。けれど山内の移住対策の動きは止まることなく自治会長さん、地域の皆様から多くの情報を頂き、3月現在で18軒の家に灯りを灯して頂きました。(兵庫県から4名、岡山県4名、三重県5名、東京5名、島根県2名、広島市内5名、福山市2名、三次市14名、庄原市9名、山内地域内12名の計62名。)ゲストハウスの関係人口は未知数です。また今年度はUターンしての実家のリノベーション、増築・新築の声も多く聞かれ始めました。引っ越して来られた方々からも地域の皆様からの温かいご支援に感謝の声が続々届いています。引き続き末長いご支援、見守りを宜しくお願いいたします。



第8回 先人の知恵を未来につなぐ体験事業 やまの家 如月の暮らしごと

2023.2.23

やまの家実行委員会主催



アイデア
いろいろ
しいたけ植菌台

じつにじつに面白い!!
大量に植菌する為に、
様々なアイデアが生まれる
のですね♪



取り付け用キャスターを板に固定。
by 西本さん



鉄の足場を曲げたり溶接。
by 美安さん



木の足場を利用。平行に並べて。



はで木を地中にクロスして埋めて。

地べたでも植菌しましたよ。腰が痛くなるのが玉にキズ。ほだ木を持ち上げなくてもいいけれど、雑菌が入るので、優しく転がします。

ほだ木
250本 植菌



もみ殻燐炭を土に混ぜ込むと保水性・保温性・通気性・排水性に優れ、フカフカになります。また土はね防止や土壌の微生物の増殖により連作障害にも効果的、酸性の土壌を中和し、消臭効果も期待できる優れたものです!! **先人の知恵は素晴らしい!!**



材料はドラム缶・わら・スギの葉もみ殻、マッチ・燐炭器

長重義則さんから
伝授頂きました。



「煙の色が青白くなったら、煙突を抜き蓋をする。水をかけて消さないから次の日には使えるよ。」



市販の燐炭器の代わりに
長重文さんが1斗りで
作られた燐炭器も最高
なれば作る♪です!!



飾り炭を作る



空き家から出てきた、捨てられる空き缶の再利用♪

次回は 4月23日(日)

身近な山野草探検し味わって、山菜の保存方法も教えてもらおう!!

地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実